

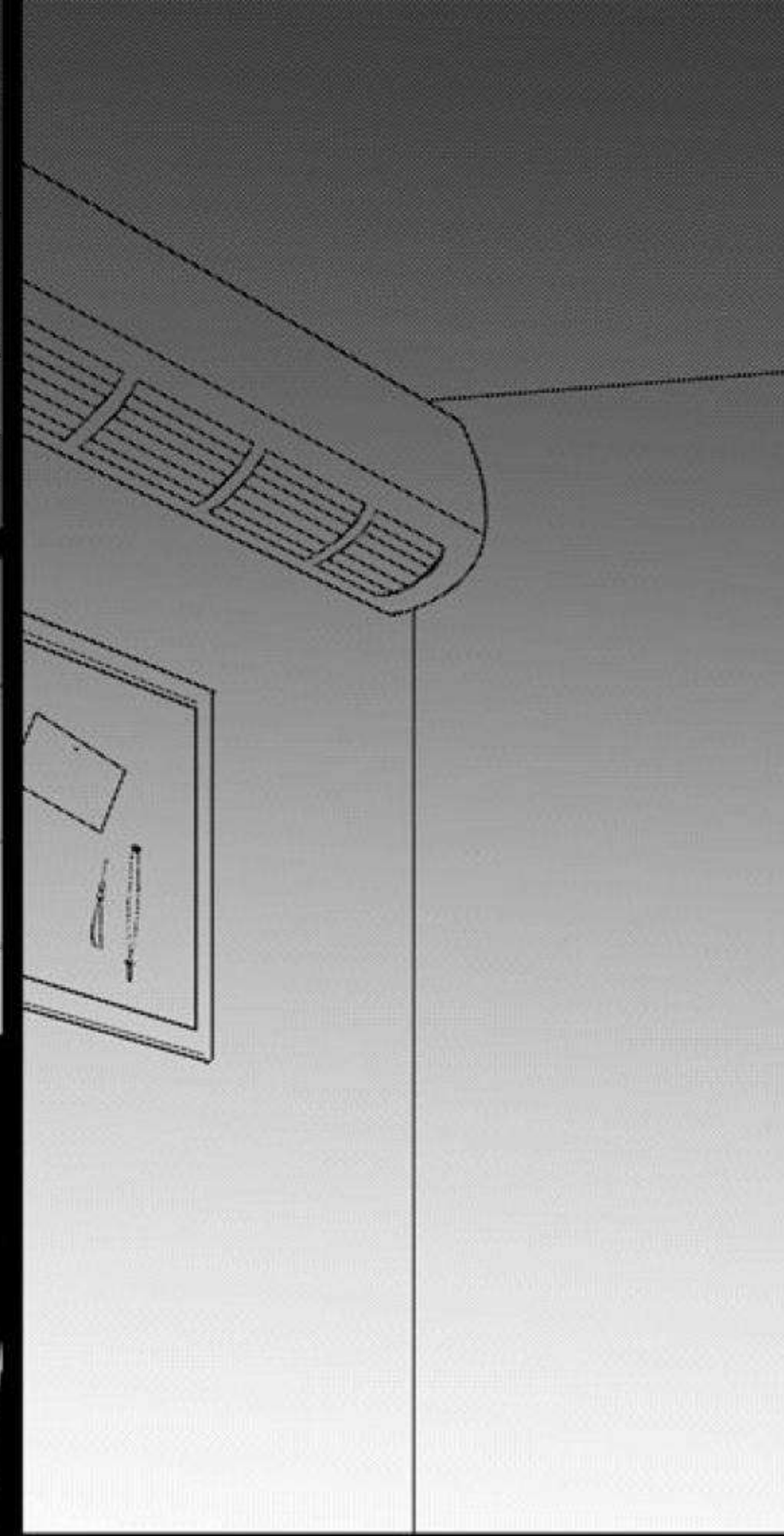


求めたのは

どちらからか



まだ痛えか？



だから、
うごいて—



ちよつとだけ、
でも、だいじょうぶ





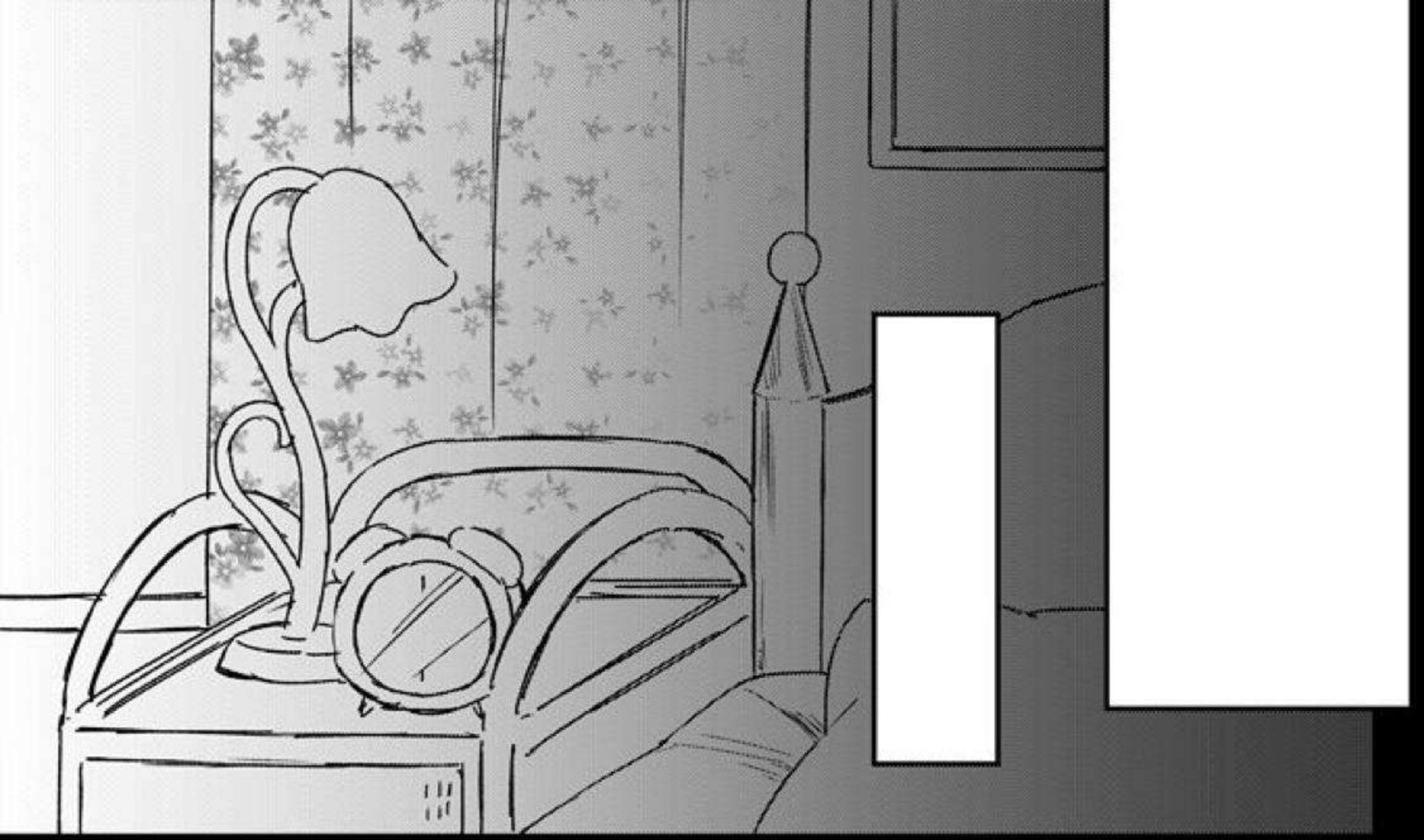







—すまねえ
桔梗…っ





“すまねえ
桔梗”




あんな時でも
やっぱり犬夜叉は…

わかってる

桔梗のことを
忘れられないのを
分かっていて、
犬夜叉の傍にいと
誓ったのはあたし

わかっていても
あの瞬間くらい

あたしの名前を
呼んで欲しかった



…なんて、
わがまま
なのかな…

せめて
言葉には
しないで



なんで
謝るのよ

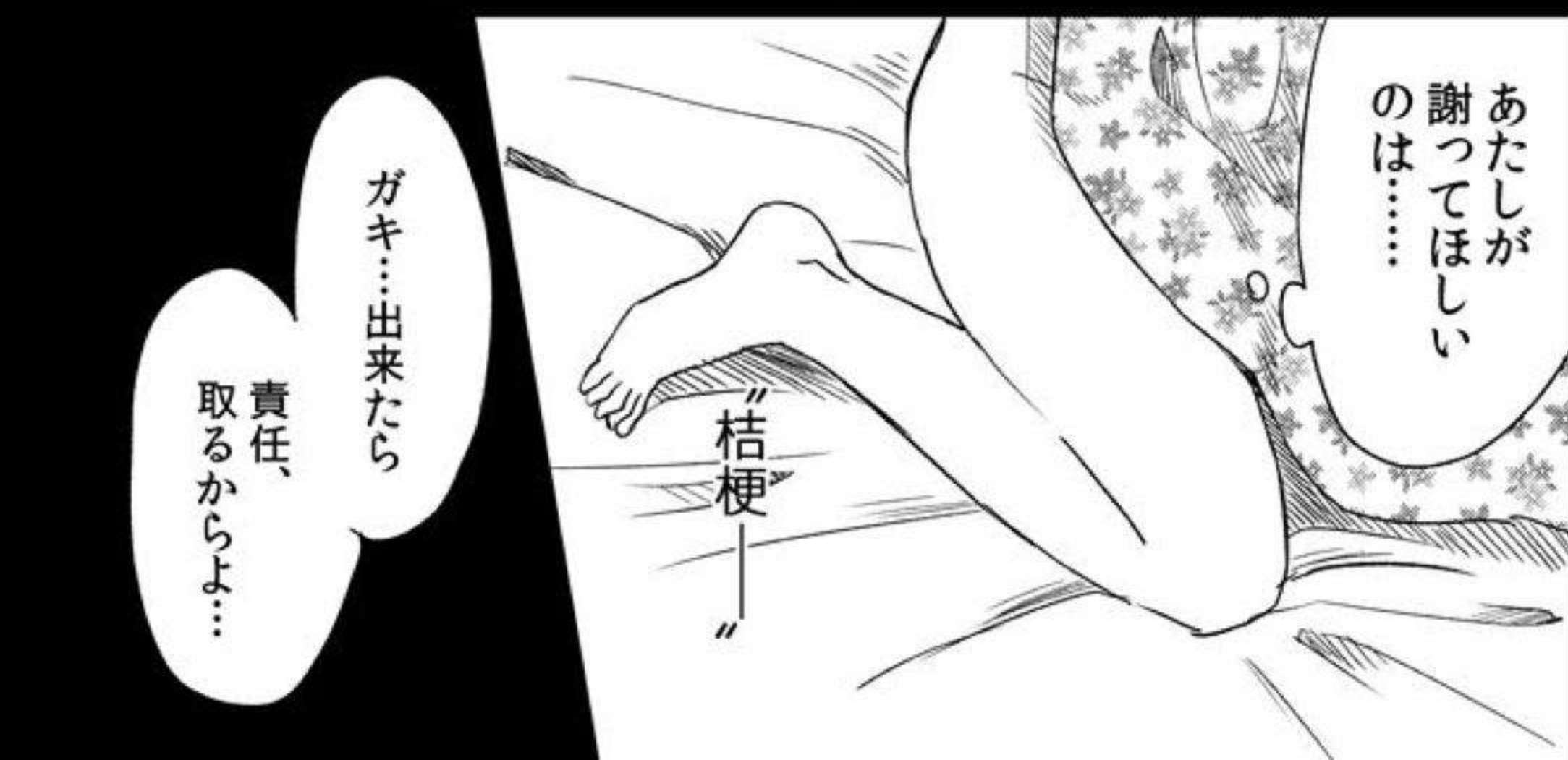


すまねえ
かごめ



また…
無理させちゃった

別に…
無理なんて…

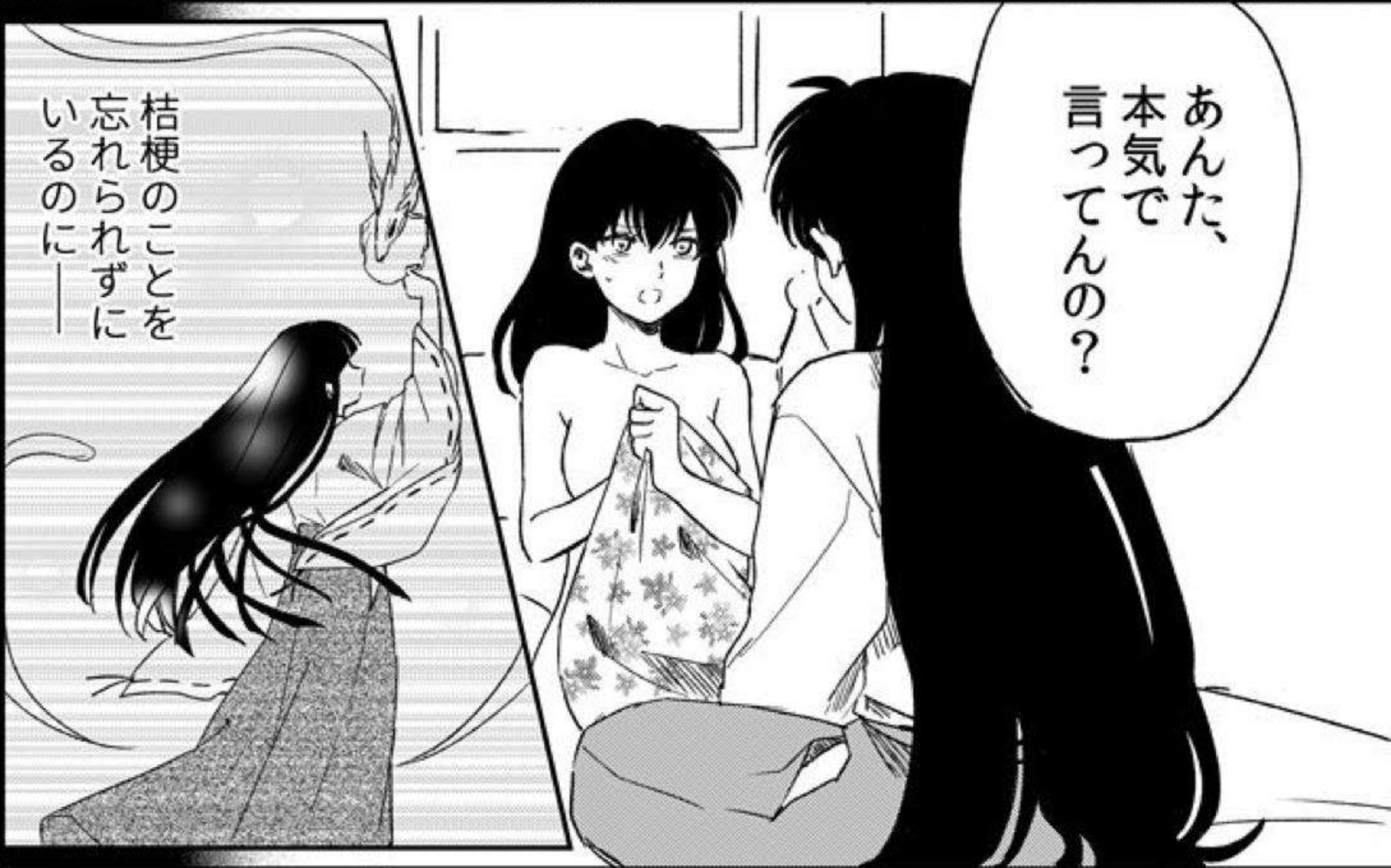


あたしが
謝ってほしい
のは…

“桔梗”

ガキ…出来たら

責任、
取るからよ…



あんだ、
本気で
言ってるの？

桔梗のことを
忘れられずに
いるのに――



本当に……？

子どもが出来たら
あたしと一緒に
なるっていうの？

ん
ん
ん

さつきまた
桔梗って
言ったでしょ

...

奈落のことも
あるし、
四魂の玉だって
まだ完成してない

...わかってる

あんたは、
あたしだけを
選べない

かご...

選んじや、
いけない

ホロ...

...こんな



か...

ごめんなさい
桔梗...

ごめんなさい



こんな、
こと

ポロ
ポロ

ポロ...

してる場合じゃ、

な...のに



謝らなきゃ
いけないのは
あたしの方だ

ごめんなさい

分かってているのに
止められなかった

いめんなさい

全ての問題から
目を反らして

犬夜叉を
繋ぎ止めるのに
必死で

汚くて

ずるくて

いめんなさい

いめんなさい

いめんなさい

泣くな
かごめ

やめろ

おまえが
謝るな

いめっ

あたしっ

あんたに
選ばれる
資格なんてなっ

かごめ!

ニヒ



見ないで...

やだ...

...



離しておねがい

やだ

離さねえ!

かごめ

こつちを見ろ
頼む



か

!!

おれだけを
見てくれ!!!





かごめ

ん、ん...

ん、ん...



ん、ん...

ん、ん...



ごめんね
犬夜叉

わかったから
もう謝るな

かごめは
何も悪くねえ

……ありがとう

おう……

これから
どうすれば
いいのだろう——

なあ、かごめ

おれは
どうすればいい



え...

いや、悪い
おまえに聞いて
決断しようなんざ
虫が良すぎるな

悪いのは全部
おれだ...

かごめを
泣かせるつもりじゃ
なかったんだ

犬夜叉...

こんな、
つもりじゃ...

...なのに
かごめといると
自分が抑えられ
なくなる...

欲が、
出ちまうんだ

どうしても

おまえとの
幸せを

望んじゃまっ...

ばか...

...

ばか



これから
どうすれば
いいのだろう

奈落を倒して、
四魂の玉を完成させて

桔梗を――

…

桔梗を忘れて
なんて言えない

忘れられる
はずもない

犬夜叉も、
あたしも――

――だけど

生きてほしい

犬夜叉には
これからもずっと

例え桔梗が
成仏してしまった
としても…

後を追ってなんか
ほしくない

…出来れば、
あたしの隣で…

なんて、
素直に
言えたらな

かごめ…

あ、犬夜叉…

キラ



髪が…

!

…まぶしい

犬夜叉には
生きてほしい

例えどんなことが
あっても
生きる喜びを
見つけて笑ってほしい

あたしは
そのためなら
何だってする

だってあたしは

犬夜叉のために
生まれて来たから





犬夜叉

大好き

かごめ…

また
つらい気持ちに
なっても

何度同じ問題に
ぶち当たっても

きつと
この答えは
変わらない

